

○ 年度の重点目標や努力目標に焦点を当てた例 (その2)

下の例は、学校経営並びに教育課程を図る上から、年度の努力目標について評価している。それぞれの努力目標から2つの努力事項を導き出し、そこから具体的に実践していこうとする評価項目を明確にしている。努力事項については、特に全職員が重点的に取り組む項目については◎を付しているのが特徴である。各学期ごとに、全職員が、具体的実践事項について、5段階評定をし、それに対するコメントを加えている。学校として、集約された結果をプロフィール化し、全体協議会などで検討し、次の学期、さらには次年度に向けて、改善を図っていこうとするものである。

昭和58年度 努力目標・努力事項・具体的実践事項(第1学期末)評価表

1. 主体的な学習をめざし、授業の質的改善に努める

努力事項	具体的実践事項	5 4 3 2 1					コメント
		5	4	3	2	1	
1. 基礎的・基本的事項の定着	○ 基礎的・基本的事項の精選						
	○ 基礎的・基本的知識・技能の精選						
	○ 実態に即した指導計画の作成						
	○ 評価が生徒に生かされる授業の実践						
	○ 学習意欲を喚起する指導の工夫						
	○ 評価資料の効果的活用						
	○ 小集団・個別学習の積極的活用						
	○ 学習のし方の訓練						
	○ 計画的学習の習慣化						